

# 一人ひとりの行動が、世界の「未来」に

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月に国連総会にて全会一致で採択された「2030年までの国際目標」です。17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国も取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、北九州市としても積極的に取り組んでいます。



1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

SDGsは「目標」、ESDはそのための「人財育成」です！

2017年 北九州市が「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞！

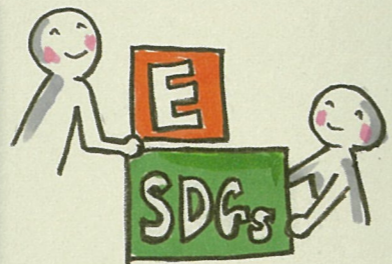


写真提供:内閣広報室

これまで市民が積み上げたESDの成果が評価されたんだね。



北九州市環境マスコットキャラクター ていたん & ブラックていたん



未来をえがこう！！

北九州の ESD

Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

※世界ではユネスコ、日本では文部科学省・環境省を中心に取組まれています。

【ESDとは】  
限りある地球を未来の世代にひきつぐために、  
学び・考え・行動することです。

私たちの地球・社会は、このままずっと住み続けられると思いますか？  
環境・経済・社会…今、世界のあり方を見直し、変えていく必要があります。





# 北九州ESDの「原点」は公害克服

この流れ、まさにESD!!

## 社会課題の発生

### 1960年代 経済成長と公害

北九州地域は、1901年の官営八幡製鉄所の操業開始以降、日本四大工業地帯のひとつとして、日本の近代化・高度経済成長のけん引役を果たしてきました。その一方で、深刻な公害に直面しました。



## 自分の事として受け止める

### 「青空がほしい」婦人会による公害克服運動

公害問題に対して最初に声を上げたのは、子どもの健康を心配した母親たちでした。「青空がほしい」をスローガンに、自発的に大気汚染の状況を調査し、その結果をもとに企業や行政に改善を求める積極的な運動を起こしました。



### 大学・企業・自治体も協力

これを受け、皆が一丸となって解決に取り組みました。公害が大きな争いにならず、皆が協力して解決できたことは、北九州の大きな特長であり、誇るべき歴史です。



婦人達による生活発表

市民の  
取組み

大学の  
取組み

パートナ  
シップ

企業の  
取組み

自治体の  
取組み



婦人達が相談し学んだ大学教授による学習会



省エネ型生産工程や公害防止機器整備



環境モニタリングや環境インフラ整備

## 次世代へと引き継ぐ

### いつまでも美しいまちに。～そして世界・次世代へ～

公害を克服した経験から、市民も企業も環境意識の高いまちとなりました。そして現在、これまでの経験と技術を生かした「環境国際協力」や、持続可能な社会を担う「次世代の育成」に取り組んでいます。



インドネシア・スラバヤ市でのコンポストによる生ごみ堆肥化事業



若松の風力発電

# 「今」もひろがり続けるESDの輪



北九州のESDの土台市民

みんなが  
つながる交流会  
「ESDツキイチ  
の集い」

地域で  
活躍するESD  
コーディネーター  
育成講座

北九州  
ESD協議会  
Palette for Future

産業発展と  
環境の両立  
企業

子どもの頃から  
未来を考える  
教育機関

水の流れから  
学ぶ防災教育

企業向け  
SDGs研修

様々な分野から  
まちづくりを担う  
行政

あつまる、ひろがる、動きだす。  
北九州まなびと  
ESDステーション

昔話風で  
楽しく読める  
ESD絵本  
あおい空  
あおい海

2013年に市内10大学が連携した実践的学習の場として、魚町銀天街に開設されました。ここでは、地域と学生が連携し、環境や防災など多くの課題解決プロジェクトが実践されています。現在は、北九州ESD協議会が管理運営しており、年間約2万人が利用する、北九州のESDに欠かせない拠点となっています。



北九州ESDストーリー

1987年 プルトラント委員会報告書



1992年 地球サミット



2002年 ヨハネスブルグ・サミット



2006年、北九州ESD協議会設立！同年、RCEに認定！



市民を中心に、ローカル&グローバルなESDを実践！



世代を超えた様々な取組を実施中！



2017年、北九州ESD協議会が地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰を受賞！



明るい未来へと続く...